

## 栄養塩添加による漁場生産力の向上

日時・場所：2016年3月26日（土）13:00-17:30 第10会場

コンピーナー：山本民次（広島大院生物圏科）、大嶋雄治（九大院農学研究院）、田中丈裕（里海づくり研究会議）、西川哲也（兵庫水技セ但馬）

### 講演課題

- 13:00-13:05 開会挨拶 大越和加（水産環境保全委員会委員長）  
座長 西川哲也
- 13:05-13:25 趣旨説明～瀬戸内海の貧栄養化の過程と水産業への影響～  
山本民次（広島大院生物圏科）
- 13:25-13:50 ノリ養殖漁場への栄養塩類供給手法の検討  
原田和弘・宮原一隆（兵庫水技セ）・阿保勝之（瀬戸内水研）
- 13:50-14:15 海域への栄養塩添加と筑後大堰等の運用によるノリ養殖生産性の向上  
三根崇幸・川村嘉応（佐賀有明水振セ）
- 14:15-14:40 ノリ養殖への新施肥技術：香川方式ノリスカート  
多田邦尚（香川大瀬戸内圏セ）・宮川昌志・龍満直起（香川水試）・藤原宗弘（香川県）・阿保勝之（瀬戸内水研）・本城凡夫（香川大瀬戸内圏セ）
- 14:40-14:50 休憩  
座長 田中丈裕
- 14:50-15:15 アミノ酸混和コンクリートによる微細藻類の増殖促進  
中西 敬（日建工学株式会社）
- 15:15-15:40 沿岸域における鉄の動態理解に基づいた藻場修復への取り組み  
山本光夫（東大海洋アライアンス）
- 15:40-16:05 栄養塩の供給－改訂版 磯焼け対策ガイドラインより－  
綿貫 啓（アルファ水工コンサルタンツ）・藤田大介（東京海洋大海洋科）・  
内田 智（水産庁漁港漁場整備部）
- 16:05-16:30 二枚貝増産のための施肥技術体系確立の試み（攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業）について  
山本民次（広島大院生物圏科）・中原真哉・平岡喜代典（広島県環境協）
- 16:30-16:40 休憩  
座長 大嶋雄治
- 16:40-16:55 海域施肥に対する慎重論の立場からのコメント 門谷 茂（北大院水産）
- 16:55-17:25 総合討論 大嶋雄治
- 17:25-17:30 閉会挨拶 門谷 茂（水産環境保全委員会副委員長）

**開催趣旨：**我が国沿岸では、富栄養化を改善するため、窒素・リンの負荷量の削減を行ってきており、一定の成果を挙げた。その反面、負荷量が減少しすぎて貧栄養化した海域が見られる。例えば、瀬戸内海ではノリの色落ちは、明らかに栄養塩不足に起因しており、栄養塩添加によって葉体の色が回復することが実験的に分かっている。また、アサリやカキなどの二枚貝類の漁獲量の減少や、大型藻類が生長せず磯焼けが起こっている。植食動物による食害が大きな原因の一つであるものの、施肥等の栄養塩添加によってこれらの生物の生長が促進される事例も得られてきている。陸上農業における施肥は作物を作る上で普通に行われる行為であるが、海域への栄養塩添加（施肥）についての知見はほとんど無い。本シンポジウムでは、堰ゲートの開門や下水処理排水の運用なども含め、海域への栄養塩添加（施肥）の試みについて、先進的試行を紹介し、情報の交流を図り、もって今後の沿岸海域環境保全・修復のあり方について議論することを目的とする。